

会 議 録

1 会議名

第2回浦川原区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○ 報告事項（公開）

- (1) 地域自治推進プロジェクトの検討状況及び地域独自の予算事業の経過措置の取り扱いについて

○ 協議事項（公開）

- (1) 令和6年度浦川原区地域協議会活動計画（案）について

○ その他（公開）

- (1) 浦川原区コミュニティバスの利用実績及び利用促進の取組について
- (2) 谷集落で導入を予定している地域おこし協力隊の募集に係る進捗状況について

3 開催日時

令和6年6月25日（火）午後6時30分から午後8時30分まで

4 開催場所

浦川原コミュニティプラザ 4階 市民活動室4・5

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・ 委員：市村一雄、市村千映、小野正広、金子正徳、北澤正彦、五井野利一、杉田和久、竹内登美子、西山正成、水澤幸博
- ・ 事務局：浦川原区総合事務所 坂井所長、岩野次長、保倉次長、大島建設グループ長、廣田産業グループ長・唐澤市民生活・福祉グループ長、西山教育・文化グループ長、村松地域振興班長、原田主事

8 発言の内容

【北澤会長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 出席者は10人で欠席委員は北澤誠委員と松野委員
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上が出席しているので、会議が成立する旨を報告
- ・ 本日の会議録については市村千映副会長に依頼

【北澤会長】

それでは、2. 報告事項に入る。「(1) 地域自治推進プロジェクトの検討状況及び地域独自の予算事業の経過措置の取扱い」について事務局から説明をお願いします。

【岩野次長】

(地域政策課より送付された資料により説明)

【北澤会長】

今の事務局の説明に質問はあるか。

【市村一雄委員】

まだ案ということであれば、質問や意見は控えた方が良いのか。

【岩野次長】

今後、委員の皆さんにアンケートをお願いしますので、その際の参考資料としてご覧いただければよいと思っています。今後、皆さんの意見や庁内の意見がブラッシュアップされ、素案が案となった際には、また、皆さんに説明させていただければと思っています。

【杉田委員】

アンケートというが、どのような内容で何を問うのか。あまりに漠然としているのではないか。

【岩野次長】

内容については、地域自治区の理想的な姿や、取組性の全体像を見た中で、皆さんから意見を求めるものになるものと思っているが、調査用紙をまだ見っていないので答えることができない。現時点では今回の説明でご承知いただきたい。今後、話が進んでいく中で情報を得られたら皆さんに提供させていただく。

【杉田委員】

アンケートはいつ頃になるのか。

【岩野次長】

7月の中旬以降で準備を進めている。

【北澤会長】

ほかに質問はあるか。

(会場から意見なし)

以上で、2. 報告事項「(1) 地域自治推進プロジェクトの検討状況及び地域独自の予算事業の経過措置の取扱い」について終了する。

次に協議事項に移る。「(1) 令和6年度浦川原区地域協議会活動計画(案)」について事務局から説明をお願いする。

【岩野次長】

((1) 令和6年度浦川原区地域協議会活動計画(案) について説明)

【北澤会長】

今の説明に質問はあるか。

【西山委員】

申し送り事項の審議、その他研修や視察を進めていきながら、その中で自主的審議事項に値する事項があれば並行して進めていく。4年間で何か大きなテーマを1つ設けるのではなく、テーマがいくつあっても良いという認識で良いか。

【岩野次長】

その通りである。今年度必ずしも自主的審議事項のテーマに取り組まなければならないということではない。皆さんが協議していく中で、必要というものがあればその都度審議していければ良いと考えている。

【市村一雄委員】

申し送り事項の中で、前期の春日委員の申し送り事項が印象に残った。この熱い想いを本人の口から聞くことはできるのか。

【岩野次長】

地域協議会が求めて必要であると判断したのであればできるが、あとは本人の意向である。

【北澤会長】

市村一雄委員から春日委員の申し送り事項の話があったが、その話も含めてまずは前期の申し送り事項を第一に進めていきたいと考えている。その中で、今回初めての委員も多くいることから、地域協議会の在り方について勉強し、それと並行して申し送り事項を協議していきたいと考えている。前期委員の申し送り事項の文書から読み取れない想いが聞きたい、また、本人の出席も叶うという状況であれば、その時に話を聞くことは可能であると思う。

【杉田委員】

前期の委員であれば分かると思うが、前期は自主的審議事項について2つのグループに分かれて議論を行った。その中で1年かけて10回ほど、地域協議会以外にワークショップを行い、非常に活発な意見が出て良い経験をさせてもらった。春日委員も同じように考え、申し送り事項の中に述べたものと私は理解している。

【水澤委員】

今期の活動計画について示され、申し送り事項について踏襲するかどうかはこれから議論すべきかと思うが、今期の地域協議会について、どこにターゲットを置くかは決めておくべきだと思う。地域に寄り添った中で課題をみつけ、例えば少子高齢化という現状の中で、今まではいろいろなコミュニティや団体が一生懸命取り組んできたが、現実をみると活動が希薄化してきている。浦川原区でみると高齢者が集まる場所さえなくなっている。今期は若いリーダーになったということで、今までの地域協議会にこだわることなく、転換期として活動していくべきだと思う。申し送り事項もちろん大切だが、今期の地域協議会がどこに向かっていくかの活動計画を立てるべきだと考える。

【北澤会長】

水澤委員の発言はごもつともだと思う。ただ、前期委員からの申し送り事項について、今期と共通する課題が多く存在すると私は考えている。もちろん前期委員の申し送り事項のみを協議し、自主的審議に至るのではなく、必要なものは必要な協議としてリアルタイムに取り上げることが大切であると考え。前期の課題と今期の課題について関連する事項も多くあることから、まずは、前期委員の申し送り事項について協議し、並行して新たな課題があれば同じスタンスで協議する。目標を立てることも大切だが、そこに至るまでの過程として前期委員の申し送り事項や、前期委員が作成した「地域活性化の方向性」を踏まえ方向性を出すべきと考える。私も勉強しなければならない部分が多くあるため、まずは、前期委員の申し送り事項から取組、そこから新しい課題に取り組んでいきたいと思う。

【水澤委員】

私は前期委員の申し送り事項を否定しているわけではなく、今回、新しい若いリーダーに変わったので、前期委員の申し送り事項にこだわらず、新しい発想で取り組んでほしいという想いで発言したことを理解していただきたい。

【杉田委員】

活動計画にある研修を8月に行うとあるが、本庁から講師を呼んで行うのか。前期委員の申し送り事項については、8月や9月に集中して協議したほうがよいのではないかと。

【北澤会長】

初めての委員も多くいるので地域協議会の在り方についての研修会を8月に行う予定である。それと並行して前期委員の申し送り事項の検討をする。それを踏まえた上で、現地視察等を行い、新規の取組を行うという流れを考えている。次回の事務局との打ち合わせで研修の進め方も決めて行く予定である。時期、タイミングについては、次回の協議会で示せると思うので承知いただきたい。

【杉田委員】

8月に研修を受けるのか。

【北澤会長】

前期委員も最初に研修を行った。私も参加し、とても有意義なものであったことから、まず研修をしたいと事務局にお願いした経緯もある。ご理解いただきたい。

【北澤会長】

ほかに意見や質問はあるか。

(会場内から意見なし)

【北澤会長】

次に、4.その他に移る。「(1)浦川原区コミュニティバスの利用実績及び利用促進の取組について」と「(2)谷集落で導入を予定している地域おこし協力隊の募集に係る進捗状況について」事務局から説明をいただく。

【岩野次長】

((1)浦川原区コミュニティバスの利用実績及び利用促進の取組について説明及び(2)谷集落で導入を予定している地域おこし協力隊の募集に係る進捗状況について説明)

【北澤会長】

今の説明に質問はあるか。

【西山委員】

7月に2人現地見学に来られるということだが、この2人に応募の意思がなかった場合、引き続き地域おこし協力隊の募集を続けるのか。

【岩野次長】

地域おこし協力隊を導入したいという谷集落の強い意向があるため、今回マッチングしなかったとしても引き続き地域おこし協力隊の募集を続ける。

【北澤会長】

ほかに質問はあるか。

(会場内から意見なし)

【北澤会長】

事務局から連絡等あるか。

【村松班長】

会議終了後、地域協議会だよりの編集会議を行うため、該当する委員は会場に残っていただきたい。

【坂井所長】

冒頭、岩野次長より地域自治推進プロジェクトについて話をさせてもらったが、まだ内容について具体的ではない。内容が非常にセンシティブなものであり、地域の皆さんと会話をしながら作り上げていくものだとして認識している。よってスピード感がなかなかないが、ご理解いただけたらと思う。また、アンケートについてもまだ内容がわからない。今回、浦川原区地域協議会でお話させていただいたように、他の地域協議会でも説明をしながら皆さんから意見を聞いている。皆さんから意見を聞いた上でそれを反映したものが作成されると思うので、その際には率直な意見を聞かせていただきたい。また、地域協議会の活動計画の中で、委員研修の話もあったが、それとは別に正副会長宛てに28の地域自治区の正副会長研修の通知があったかと思う。その内容についても地域協議会へフィードバックしていただけたらと思うのでよろしくお願ひしたい。

【北澤会長】

所長から話があったが、7月の下旬から8月上旬で28の地域自治区の正副会長研修がある。私が関わったものについては皆さんにフィードバックさせていただく。

【北澤会長】

次回の地域協議会の日程だが、毎週水曜日は事務局がノー残業デーということで、水曜日は避けたいと思っている。そこで7月30日火曜日午後6時30分を次回の開催にしたいと思うがいかがか。

(会場内から「はい」の声)

それでは、次回の協議会は7月30日火曜日午後6時30分から開催とする。

以上で令和6年度第2回浦川原区地域協議会を閉会する。

9 問合せ先

浦川原区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 025-599-2301 (内線 305)

E-mail : uragawara-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別途の会議資料もあわせてご覧ください。